

---

**お赤飯炊いてもらってからね。**

巨大棒

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

お赤飯炊いてもらつてからね。

### 【NZコード】

N37960

### 【作者名】

巨大棒

### 【あらすじ】

バカエッセー。大人のコラムニスト緊急出張

「コントロールは大事だ」というお話で、お茶を濁そうと思つてあります。

若い頃は誰しも、ど真ん中をねらいますよね。生き方にしろ、異性にしろ、本能で氣に入つた一番を目指して、そのど真ん中に全力でぶちあたろうとしたことでしょう。

いやいや、若い頃から贋曲がりで、人とは違う捻くれものでした……。なんて、過去を恰好付ける奴もいたり、個性が生まれつきあるから、人によってストライクゾーンは違うぞという意見もあるでしょうが、一切絡みのない当コラムでは、そんな意見はばっさり切り捨てます。

智恵や判断力がないから、正しいものは子供にはわかりません。だから教育は大切だし、ガキのうちにたいした判断力もないくせに愛だのセックスだの興味をもたらしかんのです。

いくら穴があつたら挿れてみたいお年頃でも、てめえで処理すべきものやと思います。そして、その悶々としたエナジーや、枯れ野も濡らす壮大な妄想は、必ず役に立ちます。また、成就されない恋愛欲や、現実に昇華させなかつた青春幻影、そういうつた類のものをもつことなく、たいした背伸びもせずに、大人と同じものを入手できてしまう世界に文化は創造されません。

それを姑息に「一番を手に入れることができないから、ここいらで手をうつか」という大人の判断を若いうちからすると、ろくなものになりません。言わば、豪速球が投げられる若いうちから、コーナーに投げわけようとしているようなもので、自分の持ち味を全て消しているようなもんです。しかも、コーナーを狙つてるくせにキャラが浅いから、とんでもない暴投したりします。お互い大人になつたらソッポを向き合うような相手と一緒にになつたり、後悔したり、

等。

ま、それは自業自得として、それよりも、ど真ん中に投げ込む力がせつかくあるのに、それをしないでどーするって感じです。そして跳ね返されて、判断力が着いてくるし、跳ね返され続け、コントロールが身につき、初めて、アウトローもありだなという選択肢が生まれます。

いきなりアウトローめざしても、ストライク入るわけがありません。即デッドボールで留置所いき、一生涯ど真ん中に投げることは許されない人生となります。それだけの決断力を、たかが十数年しか人間したことのない、皮被つた やお赤飯炊いてもらつたばかりの が出来るわけないです。

で、何の話でした？

そうそう、コントロールでした。

大人でもそうです。というより、大の大人でもコントロール悪い奴が多いです。真ん中投げて抑えられなくなるまでに、ちょいちょい遊んでおかないと、いざコーナー突こうと思つても、暴投になります。そういう人はおとなしく、ど真ん中に投げ続け、よい家庭を守ることに徹すればよいのです。へたにアウトローに踏み込もうとして家庭を壊したり、犯罪までいつたり、歯止めの利かせ方がわからないのです。

だから、歳いつてからも少しあんちやな生き方がしたいと思つたら、二十歳から三十くらいまでの間に、遊びなれた年上と後腐れなく遊びことをお勧めします。

「……実は、今日の文は壮大な前フリで、二十代のおネエちゃん」と火遊びがしたいだけだなコイツ。」

そう思ったあなた！

……読み返してみたら、自分でもそう思います。

いまだに、性欲のコントロールを身につけていないコラムニスト・  
巨大棒でした。

(後書き)

怒られる」とや渋れる「」と云え、普段の「ラムはアダルトカテ」「」で公開しているチキン野郎とは私のことです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3796o/>

---

お赤飯炊いてもらってからね。

2010年10月18日05時02分発行